

ダイハツ工業株式会社

DAIHATSU MOTOR CO., LTD.

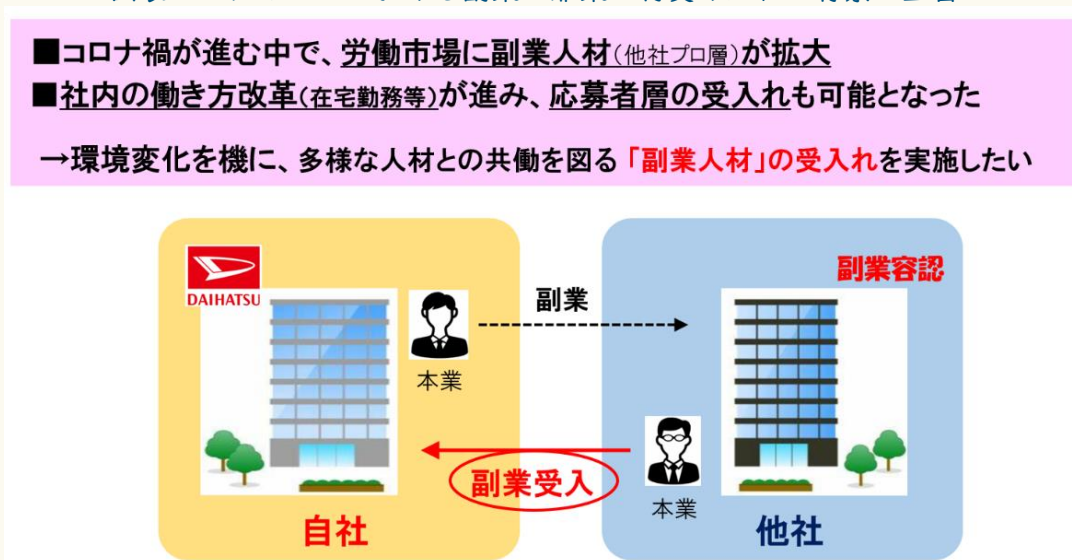
1. 副業・兼業者の受け入れ -背景と経緯-

ダイハツ工業はグループのスローガン「Light you up」のもと、顧客の暮らしを豊かにするモノ・サービスの提供を事業活動の柱に据えている。主力製品である軽自動車のユーザーは6割が地方に居住し、地方では高齢化・過疎化の進行に伴う移動手段の確保が課題となっている。そこで同社は近年、「Maas¹ × 地方創生」を掲げ、課題解決に向けた新規分野の事業創出に注力している。

「100年に一度の変革期」とも呼ばれる自動車業界にあって、スピード感をもって新たな取り組みを推進するためには、従来とは異なる知見・経験・価値観を取り入れ、企業組織の活性化を図ることが欠かせない。折しも、新型コロナウイルス感染症の影響により、副業・兼業を希望する人材が労働市

場で拡大するとの認識の下、テレワークが急速に普及して多様な人材が活躍できる職場環境も整いつつあったことから、同社は株式会社ビズリーチと連携し、2020年9月から外部の優秀な人材を「副業・兼業」のかたちで受け入れることとした。

図表1：ダイハツにおける副業・兼業人材受け入れの背景・主旨



出典：同社提供資料より抜粋

¹ Mobility as a Service の略称。地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービス(令和3年度版 国土交通白書)

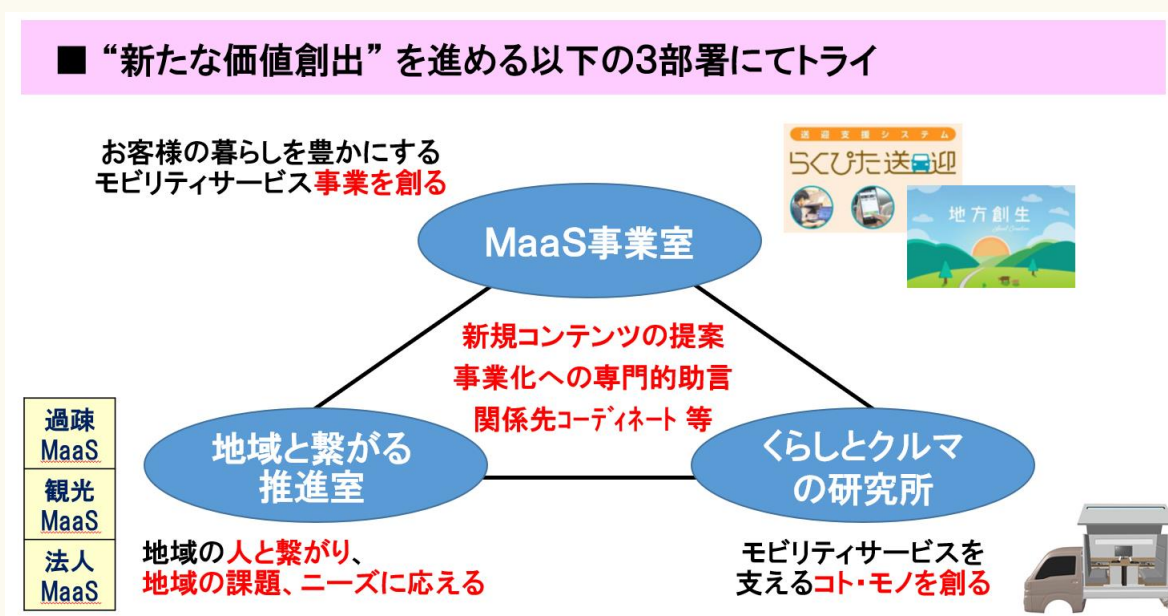
事業内容：自動車の製造および販売
 従業員数：13,033名(2021年4月1日時点)



2. 取り組みの概要

2020年9月～10月にかけて、MaaS関連事業を担い、新たな価値創出を進める3つの部署で1名ずつ計3名の副業・兼業人材を募集した。

図表2：副業・兼業人材の公募対象



出典：同社提供資料より抜粋

募集内容は、各部署が進めるプロジェクトのアドバイザーやディレクターとして、週に1日程度、期間3カ月の業務委託契約で勤務するものである。リモートワークを想定しているため勤務地は限定せず、プロジェクトの内容に応じて一定期間の契約延長も可能とした。社外の知見・ノウハウの

獲得という目的や、本業先との競業避止の観点から、同業他社の雇用者は基本的に対象外とした。

有期の業務委託契約とした理由は、雇用形態で採用することによる労務管理の負担や固定費の増大を考慮したためである。

図表3：受け入れ条件と条件設定の考え方

	内 容	条件設定の考え方
形 態	業務委託契約 (個人事業主契約)	時間管理の対象外
勤 務	週1～2日(月40h想定)	企業従事者は、週1が一般的
契約期間	当初、1～3ヵ月 その後、半年～1年	機密管理上、短期・有期契約
報 酬	月額固定	公募テーマが自己成長に 繋がれば、安価でも多数応募有
勤務地	リモートを基本に勤務 必要時月1回程度の出社を想定	東京、大阪、更に地方から 多様な人材を募る

出典：同社提供資料より抜粋

3. 成果と今後の展望

全国各地から824名の応募があり、さまざまな背景や強みを持つ3名の人材を受け入れることができた。自動車業界のトレンドの一つであるMaaSへの興味・関心の高さと、テレワークを基本とする柔軟な勤務形態が評価されたと同社は分析している。

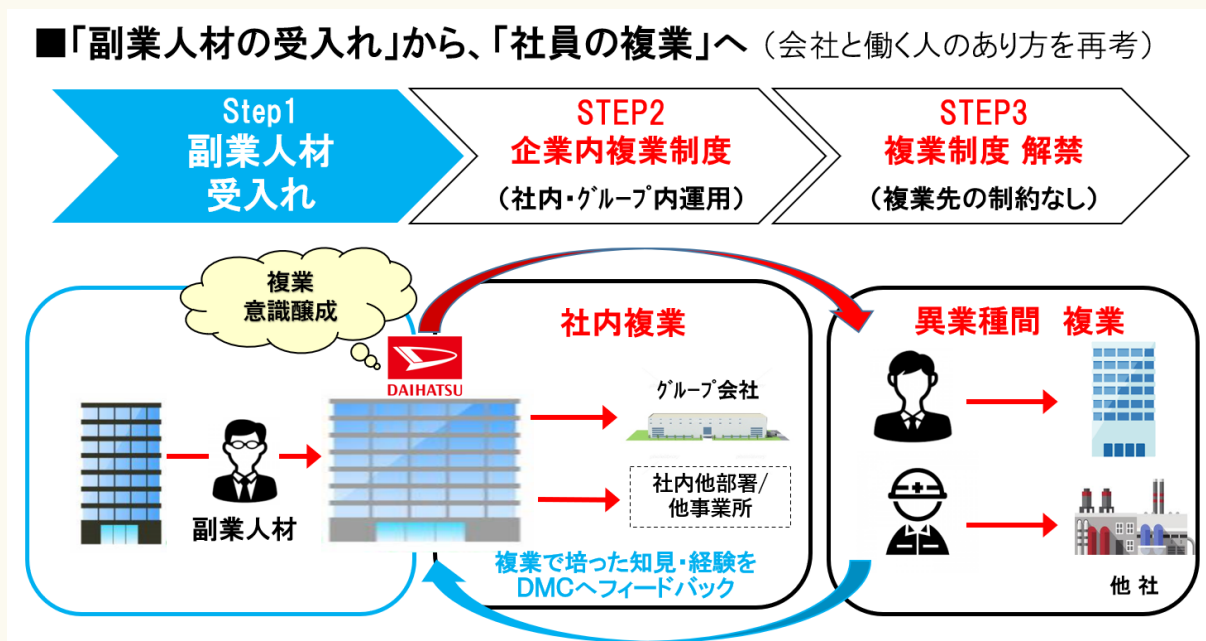
今回の募集を通じて、社内の人材育成や経験者採用では獲得が難しい人材を確保でき、各MaaSプロジェクトの活性化につながった。実際に契約期間後に更新する事例もみられた。

イノベーションの創出には、さまざまな

経験やスキルを持った人材が共働りし、化学反応を生み出す必要がある。そのためには、多様な人材が多様な働き方を実現できる環境整備が有効と考えている。副業・兼業人材の受け入れは、フルタイムの本業を持つ働き手や、育児・介護等で勤務時間・日数の制約がある働き手の活躍の場を広げることが可能となる。

同社は、副業・兼業人材の受け入れを契機として、副業・兼業先で培った知見・経験を本業にフィードバックすることを視野に、社員の副業・兼業の可能性を追求していく。

図表4：「社員の複業」施策の検討



出典：同社提供資料より抜粋

こうした取り組みを通じて、従来からの新規学卒者と中途採用者、副業・兼業により受け入れた価値観の異なる外部の人材を融合させることで、新たな価値の創出を目指している。